

佐野短期大学シラバス2013

社会福祉学入門 2019

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会福祉 Social Welfare		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (保育士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月～木の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
少子・高齢社会において、わが国はますます福祉重視型の社会を目指している。これから保育士・幼稚園教諭として社会福祉に関わる仕事をめざす学生のために、社会福祉の基本知識を概説する。 福祉の基本や福祉関連業種、社会的に見た福祉とは何か、各々の福祉領域で必要不可欠な能力とは何かを学ぶ。またこれまでの福祉理念の変遷、急速に変化している現代社会のこれからの福祉のあり方についても考察する。				
授業の到達目標				
①保育士・幼稚園教諭として最低限必要な社会福祉の知識を身につけることができるようにする。 ②社会福祉の概要を学び、自分が携わる領域との関連を理解できるようにする。 ③社会福祉制度の法制、サービス・事業を理解できるようにする。 ④社会福祉の課題や今後のあり方について考察できるようにする。				
授業の方法				
テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。				
学習の成果				
①保育士・幼稚園教諭として最低限必要な知識を身につけることができる。 ②社会福祉概観を知り、自分の選択する領域の位置を確認・その関連を理解することができる。 ③社会福祉制度の法制を理解し、事業・サービス提供を理解することができる。 ④社会福祉の課題やあり方を自らみつけ、自身の考えを述べることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等)			
第2回目	社会福祉の基礎概念			
第3回目	社会福祉をとりまく状況			
第4回目	社会福祉の歴史と展開			
第5回目	社会福祉制度の仕組みと運営			
第6回目	社会保障、公的扶助			

第7回目	社会保障、公的扶助	
第8回目	子ども家庭福祉	
第9回目	高齢者福祉	
第10回目	障害者福祉	
第11回目	地域福祉	
第12回目	社会福祉を支える人々	
第13回目	これからの社会福祉の課題（１）	
第14回目	これからの社会福祉の課題（２）	
第15回目	まとめと試験	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	積極的に授業へ参加している。板書、発言をきちんと行う。授業理解を深めている。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	80%	○×形式、選択方式、記述式を用います。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「よくわかる社会福祉」ミネルヴァ書房 参考資料：適宜配付する		
履修上の心得・ルール		
私語・携帯電話の使用を禁止します。教科書は必ず購入すること。		